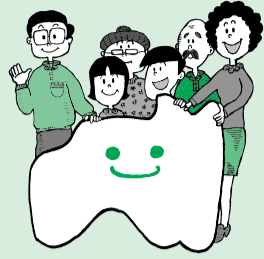


きらり健康生活協同組合



いのちの炎

〒960-8055 福島市野田町1丁目15番12号
TEL 024-531-6262 FAX 024-531-6333
URL <http://www.kirari-hcoop.com>
e-mail seikyou@kirari-hcoop.com

● 発行人/専務理事 柿沼 充
● 編集人/「いのちの炎」編集委員会



(スマートフォン専用)



生協の現況

★ 組合員数.....21,415名
★ 出資総額.....641,418,000円
2021年6月30日現在 ★ 一人平均出資額.....29,952円

第50回

通常総代会報告

6月20日(日)、ウェディングエルティにおいて第50回通常総代会を開催致しました。

今総代会も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小し、総代定数195名のうち実出席29名(書面議決159名)、役職員37名の参加となりました。

来賓

今総代会は、規模を縮小しての開催としたため、来賓のご臨席は控えさせていただきます。

メッセージ・祝電

日本医療福祉生活協同組合連合会、福島県生活協同組合連合会、東京ふれあい医療生活協同組合、ろっころ医療生活協同組合、三多摩医療生活協同組合など、全国の関連団体や医療生協よりメッセージをいただきました。

議長

小磯義男総代(吾妻西支部)、佐藤久幸総代(杉妻支部)を議長に選出し、議事が進められました。

議事

- 第一号議案「二〇二〇年度事業報告及び決算報告・剰余金処分案並びに監査報告の件」
- 第二号議案「第八次五カ年計画まとめの件」
- 第三号議案「第九次三カ年計画案の件」
- 第四号議案「二〇二一年度事業計画及び予算案の件」
- 第五号議案「役員報酬決定の件」
- 第六号議案「定款の一部

改正案の件

● 第七号議案「議案決議効力発生」の件

総代の皆さんからの意見・質問

意見・質問はありませんでした。
(事前説明会での質疑録は二、三面に掲載)

採決

採決の結果、
第一号議案(満場一致)
第二号議案(満場一致)
第三号議案(満場一致)
第四号議案(満場一致)
第五号議案(満場一致)
第六号議案(満場一致)
第七号議案(満場一致)
により、全議案承認可決されました。



(二・三面に続きます)

医療福祉生協の「通信教育」受講生募集中!!

医療福祉生協連の12コース

今年のおすすめコースは以下の2つ

- 明るいまちづくりコース
- 高齢期のいきいき生活

このコースの受講料は **1,000円**
(差額は生協補助)

お申込み・お問合せは

地域保健部 ☎526-1515 まで



暑さと疲れにはクエン酸が効くという事で昨年挑戦した自家製梅酒が最近我が家で重宝している。作り

方は簡単。水洗い、水に漬けてあくを抜いたあとよく水分を拭いた青梅一キロと水砂糖一キロを交互交互に果実酒瓶に敷き詰め、ホワイトリカー・ハリットルを注ぐのが基本の作り方だ。無色のリカーが徐々に琥珀色に変化していく時間とそれを眺めながら飲み頃の味を想像するのが何とも言えない。ちょうど六月で一年経って開封の儀。スマホ片手に急拵えで作った割には大変美味しくできあがった。近所の知人にもお裾分けしたが、評判は上々。週末には妻も梅酒で晩酌に付き合ってくれるので、作った甲斐があったというものだ。
青梅を見ると幼少期の思い出が蘇ってくる。実家の半地下室は私にとって秘密基地であった。その片隅に祖母が手作りした梅干しや梅酒はまるで宝箱のように見えた。瓶にセロテープで張り付いているのは新聞の切り抜きで梅酒や梅干しのレシピが書かれている。何年も前のものだろうか、かなり色褪せているので子どもながらに宝の在処が書いてあるメモのようにも見えた。つまみ食いしてはよく叱られた。梅干し目当てに近所の友達遊びに来てくれたのもいい思い出。
今年もまた梅酒を作るう。そうすれば、懐かしい思い出が蘇ってくる気がして。
(Y・K)

理事長挨拶



現在は、昨年に引き続き、「上松川診療所・老健にじのまち」の大規模改修を行っています。当初、感染リスクや自粛生活を強いられているコロナ禍のなか、大規模改修に伴う増資はともお願ひできることではないと考えていました。ところが、みなさんから声があり、リニューアル増資と位置づけた活動が盛り上がりました。励ましの声とともに多くの増資額が集まりました。驚きとともに、深く感銘いたしました。職員からも、「組合員さんに支えられていると実感する」「モチベーションがあがる」など、感謝の声が聞かれました。

倍と言われています。ウイルスの持ち帰りによる家庭内感染も増えています。このような不安が増加するなか、頼みの綱はワクチンによる抗体の獲得です。迅速な接種が求められています。接種については、予防接種法上、市町村が主体となつていきます。そのために、各自治体とも、「スタッフの不足」に苦慮しています。接種には複数のスタッフが必要です。最低でも、一チーム八人は必要です。ワクチン受取、温度管理、解凍、希釈、注射器注入、問診、注射などの他に、保健所折衝、受付、待機対応、キャンセル対応、副反応対応などの仕事があるからです。きりぎりでは、一時間あたり二十四回の接種をしたと考えていますが、七月末までには、四診療所で五千回が精一杯です。それでも、一回でも多く接種したいと考え、日曜日に須川診療所とせのうえ健康クリニックで接種することになりました。毎回計十六名のスタッフが必要ですが、全事業所に募ったところ多くの職員が手を上げてくれました。平日には、本部や地域保健部の職員がサポートに入っています。まさにオールきりりの対応です。通常業務の他に、検診、発熱外来を抱えながらですので、その使命感にうれしい反面、負担をかけ申し訳ないと思つていきます。

接種予約をめぐっては、各自治体に混乱が見られました。きりぎりにおいて、予約センターに電話がつながらず、直接来所する方が多くおられました。職員はその対応に追われ、通常業務に支障も見られました。幸いなことに、この事態に気付いた組合員さんたちが、予約システムの説明、予診票記入の手伝い、予約の手伝いなど手を差しのべてくださいました。その後移動手段のない方に付き添う姿も拝見しました。ありがたいと思つていきます。

ところで、免疫学の専門家は「二回接種完了者が五割を超えると、感染率が著しく下がる」との見解と、「感染の改善は今年後半」との見通しを示しています。半信半疑のところはありますが、これまで通り、三密を避けながら、接触感染、飛沫感染、エアロゾル感染の予防に取り組むことが大切だと思われまふ。

我々は、感染の改善がなされるまでは、このコロナ禍を有事と捉えたいと思つています。「有事には有事の対応」が必要です。「自分を守り相手を守る行動」としてどんなことができるのか、必要な対策を考えて行きたいと思つています。

組合員のみなさんのご支援とご協力をお願いし、挨拶といたします。

第五十回通常総代会 議案説明会発言要旨

第五十回通常総代会に先立ち、五会場で議案説明会を実施しました。コロナ禍の特殊な状況でしたが、活発な質疑が交わされました。紙面の都合上要約して掲載させていただきます。

※太字は質問・意見等

第一号議案

二〇二〇年度のまとめ

健康づくりチャレンジは勧めでも興味は薄れてきた。ある企業では数百種類の具体的な項目を一覧表にし工夫している。提案方法等考えて欲しい。

◆参考にした。新設のイノベーション課で始めたSNS等でも情報を発信していきたい。

●昨年度コロナ関連でどれ位の補助金があったのか。

●細かい補助金もあるが、大きなものは県より介護事業所と医療事業所に衛生材料費、感染対策として二千三百六十八万円。雇用調整助成金として約千三百万円。総額で約五千百万円の補助金を受けた。

●昨年度方針も「格差社会」について方針が出された。今年度も取り組むのか。生協の考える格差について「誰が対象」で、どのような視点で取り組むのか。

◆健康格差は昨年にも挙げたが、コロナ禍で未着手だった。今年度は「健康格差の理解を深める」とした。格差は様々な課題があるが、医療生協は「健康を守る」が主たる使命と考え、「健康格差」の視点から学習を始めたい。健康格差がどういふことなのか、

◆細字は回答要旨等

組合員と共通の認識に出来るよう学ぶ年としたい。

●いのちの炎六月号のダイジェストには、人件費率七〇％と示されていた。平均はどの程度で上限はどれ位なのか。比率が高く厳しい状況は分かる、それをいかに組合員と連携してカバーして行けるかが重要だと思う。

◆当生協の人件費率は七〇％を超える高い状況がしばらく続いている。収入の低さもあつても人件費率が高くなる傾向だ。同規模の生協では、約六八％が平均のようである。

●組合員の高齢化等で脱退者も多く、新規拡大の鈍化傾向も続く。今後の拡大方針はどうか。やはり若い人。自身もそうだったが、例えば労働組合、職域への健康相談などのアプローチが大事ではないか。その若い方々に加入を勧める方法等、全体で議論してほしい。

第二号議案

第八次五カ年計画のまとめ

●数年前立ち上げた定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所に期待していた。現在はどうか。

◆北ブロックの定期巡回の経営は黒字を保っている。利用者からも安心感があると好評で、そういった状況も踏まえ中西ブロックにも定期巡回・随時対応型訪問介護看護の計画を立てた。

●介護福祉士実務者研修は昨年度二十八名の成果とあるが、受講生で介護福祉士に合格している者がいるのか。

◆二年前からの取り組みである。この研修終了後三年間実

第三号議案

第九次三カ年計画

●次期、長期計画は、三カ年計画のようだが、十年後の私たちが考えると、介護の充実が必要だ。この状況に対応した活動や診療所づくり、職員の配置を考えて欲しい。

◆十年後の医療生協の未来を描きつつ三カ年計画をすすめていきたい。大型事業から小規模型へ変えるなど、実情に合わせて変化をさせたい。声をもらい、何が必要かを共に考えていきたい。

●今回、骨密度測定器を導入するようだ。診療所では専門職のいない事業所もあり医師、看護師が忙しく動いており、専門職の配置を検討したい。また、受付待合スペースも、今後増える車いす利用者に対応したスペース、施設として欲しい。

◆現在、専門職の確保が難しく業者からの紹介に頼っている。人材を大事にすることが重要と考えている。車いすの方も利用し易い施設も検討していきたい。

●なごみの家の一部が小規模多機能型居宅介護に変更となるようだ。組合員の集まる場として活用しているなごみの

マホに依存し、インターネット上で全てを解決していくのが現在の若者集団であると思ふ。イノベーション課の動きを伝えたが、新たな接点を求める手段を模索したい。

◆死去による解約は、昨年三百四十八名、一万三千三百六十六口が解約となった。その内、家族等への引継ぎが百十四名三千七百七十八口。約三分の一が引き継がれた。亡くなられた組合員が当施設を利用されていたり、また生前の、生協との良い関係が伝わっている場合、家族へ引き継がれているという感触がある。私たち職員のサービス向上も出資に大きく関わっている事等、職員と共有している。

●圧縮積立金について。普通の積立金とどう違うのか

◆例えば医療機器を補助金を使つて購入した際などの会計処理である。現在公認会計士に依頼し、金額を算出している。

務を積み、介護福祉士試験資格が得られるという制度。きりぎりでは、年三回の研修を企画。昨年度卒業の二十八名の多くは短大生で、卒業後すぐ受験資格は得られず、資格を取得した者は少なかった。しかし介護従事者を増やす上で重要である。今年には社会福祉協議会等とも連携し、申し込みが増える事も想定している。

(一面の続きです。)

家工房は、事業変更後も使用可能か。

◆詳細はこれからだが、北ブロックには組合員の使えるスペースが少なく、なごみの家工房は残したいと考えている。2ユニットあるうち、面積の広い方を新規事業所にすればスペースは十分と考えている。

◆次期長期計画の中に「地域における須川診療所の機能を明確に」とある。なぜ須川が強調されているのか。

◆須川診療所は多くの機能を保持する大型の診療所となり、医師の負担も大きくなった。経営状態は外来が昨年度、病棟はしばらく赤字を計上している。組合員のニーズを確認しながら診療所の形を模索することが必要な年だと考えている。

◆建設から既に三十三年。東日本大震災や今年二月の地震などの被害も残る。また法改正により二〇二四年までに病棟にはスプリンクラー設置が義務となり、約八千万円の費用がかかる。地震の影響が残る現施設に設置すべきなのか。また新しい医師二名の着任に際し、働き易く、専門性を考慮すると、診療所の役割も変わるべきという議論も始めている。今回の中長期計画では、役割の明確化と施設自体の今後を検討していく事。当然組合員の声や思いも十分に反映したい。また将来建替えという事も想定され、出資についても期待したい。丁寧に組合員の意見を聞き、改善できることをすすめる三年にしたい。

◆昨年組合員数は減ったが、事業所や各支部の努力で新規

拡大をしていることは積極的に評価してほしい。みなし自由脱退が毎年発生しているが、理由の明確化と、発生させないための連絡等の改善もして欲しい。

◆みなし自由脱退は、毎年郵送の通知が二年連続未達となった場合、脱退扱いとなる制度の事。通知が未達の場合一軒一軒職員が電話連絡を取り所在を確認している。結果として、自己都合の脱退を含め毎年七百〜八百名の脱退者がある。昨年度は新規加入が伸びず三十八名減となったが、コロナ禍でも減少を抑えられたのは間違いなく組合員の努力と利用結果のおかげと認識している。今後も職員含め仲間増やしに取り組みたい。合わせて出資金の減少も危惧され、増資の必要性も強く訴えていきたい。

◆小さな集まりづくりを提起されたがコロナ禍の関係もあり身動きがとれない。専門的な知識を持つ職員が地域の活動に参加する事がさらりの運動発展のためにも重要ではないか。業務が厳しいとは思いますが配慮できないか。

◆地域活動、支部活動はできるだけ多くの人で関わって行きたいと職員にも伝えているが、今回のコロナ禍では、医療、介護現場はただでさえ忙しい中、感染予防やワクチン接種など、ストレスのかかる仕事が増えるように増えている。この状況をご理解いただき、温かい言葉かけと見守りをお願いしたい。

◆イノベーション課ができ、地域にさらりの情報が発信されるのは有難い。しかし残念

だがホームページ等で期待している情報に更新が遅いものもある。部門間連携等を改善し、常に新しい情報を発信して欲しい。

◆部門間の連携を密にし、ホームページの情報については今後も改善していきたい。

◆地域でも若い方と結束する機会も少なく、これからの生協運営の壁にもなっていると思う。打開する方法が議案書にも明記できる事を期待したい。

◆生協設立時のような労働組合との協働も課題だが、労働自体の活動も少ない。また労働環境の変化から、職業病も専門的な知識が必要な心の病が増え、アプローチの仕方も難しくなり、労組との新たな関係作りを模索している。

◆機関紙にイノベーション課の記事を掲載した。二次元コードも付け、アクセスできるように案内するなど、若い方への取り組みを始めたところである。

◆若い世代との接点は関係作りからと考えている。地域で行われる活動に我々が入り込み、さらりを知ってもらう等、以前とは違うやり方が必要である。

◆もう一つ危惧しているのが出資金の減少。現在の平均出資額は三万円弱。高齢な方ほど高額出資の傾向で、高齢者の解約は出資金の減少幅が大きい。一方新規加入の多くは数口。解約の口数には遠く及ばず、こういった状況から、定期的な増資と解約者を減らすII次世代への引継ぎが大事と考えている。若い世代へ出資を引き継いでもらうために、ぜひ家族へさらりの事を

伝えて欲しい。

◆コロナ禍を含め、先が見えない状況である。次期長期計画は、確実に見える範囲の三年とした事は評価する。

◆中西ブロックの定期巡回・随時対応型訪問介護看護を立ち上げるが、具体的な中身を教えて欲しい。

◆さらりでは、中西と北ブロックに訪問介護（ヘルパー）事業所が二カ所ある。訪問介護はケアプランで希望されたサービスを自宅に伺い提供する。一方、随時対応型では必要な時、希望があればすぐ利用者宅に伺う事ができる。また、料金体系も異なり、介護度により利用料が決まり、ひと月に何度利用しても定額となる。さらに看護師との連携もできるため、訪問看護もある当方の利用者にとってはメリットが大きい。

◆福島の疾病構造は行政よりデータが出されている。我々の診療所で実施している健診の疾病毎データは有り、随時お知らせしたい。また、健診事業課が新しくなり、健診データを蓄積し分析している。来年にはその結果をお知らせ

◆福島の疾病構造は行政よりデータが出されている。我々の診療所で実施している健診の疾病毎データは有り、随時お知らせしたい。また、健診事業課が新しくなり、健診データを蓄積し分析している。来年にはその結果をお知らせ

◆福島の疾病構造は行政よりデータが出されている。我々の診療所で実施している健診の疾病毎データは有り、随時お知らせしたい。また、健診事業課が新しくなり、健診データを蓄積し分析している。来年にはその結果をお知らせ

◆福島の疾病構造は行政よりデータが出されている。我々の診療所で実施している健診の疾病毎データは有り、随時お知らせしたい。また、健診事業課が新しくなり、健診データを蓄積し分析している。来年にはその結果をお知らせ

◆福島の疾病構造は行政よりデータが出されている。我々の診療所で実施している健診の疾病毎データは有り、随時お知らせしたい。また、健診事業課が新しくなり、健診データを蓄積し分析している。来年にはその結果をお知らせ

◆福島の疾病構造は行政よりデータが出されている。我々の診療所で実施している健診の疾病毎データは有り、随時お知らせしたい。また、健診事業課が新しくなり、健診データを蓄積し分析している。来年にはその結果をお知らせ

◆福島の疾病構造は行政よりデータが出されている。我々の診療所で実施している健診の疾病毎データは有り、随時お知らせしたい。また、健診事業課が新しくなり、健診データを蓄積し分析している。来年にはその結果をお知らせ

第四号議案 二〇二二年度計画

その他

◆議案書が議案説明会直前に届いた。事前に確認したいので、早目に届けてほしい。

◆なるべく早く早くお届けできるようにしたい。

◆総代会をコロナ禍の今の時期に開催するのは疑問だ。制約はあるのか。コロナが落ち着く秋ころに出来ないか。

◆総代会は生協法により決算期の三月より一定の期間内に開催し、決定事項を登記しなければならず、六月末までが開催の期限となる。例年六月第三週の日曜日に開催してきた。

◆コロナ禍での招集は心苦しいが、法的に総代会の参加数を簡素化することが認められないため、口頭にて書面議決書の活用をお願いし、参加による感染防止に配慮した。

◆一九八二年一月に設立総会、六月に須川診療所開設。医療生協は来年四十年になる。重要な一年になると思うが四十年記念事業は考えていないのか。

◆コロナ禍のためイベントの開催は困難と考えており、検討していない。記念誌の作成は検討中である。五十周年を大規模なイベント時機と念頭に置いて準備をしたい。

◆配付協力をきっかけに健康に興味を持った。さらりの利用者・患者の疾病について傾向等の情報を機関紙に掲載できないか。

◆福島市の疾病構造は行政よりデータが出されている。我々の診療所で実施している健診の疾病毎データは有り、随時お知らせしたい。また、健診事業課が新しくなり、健診データを蓄積し分析している。来年にはその結果をお知らせ

◆福島の疾病構造は行政よりデータが出されている。我々の診療所で実施している健診の疾病毎データは有り、随時お知らせしたい。また、健診事業課が新しくなり、健診データを蓄積し分析している。来年にはその結果をお知らせ

◆福島の疾病構造は行政よりデータが出されている。我々の診療所で実施している健診の疾病毎データは有り、随時お知らせしたい。また、健診事業課が新しくなり、健診データを蓄積し分析している。来年にはその結果をお知らせ

◆今後、出版元にも許可を得て、いのちの炎へ掲載等、書いた原稿が組合員に届くように検討したい。

◆診療所利用委員として。須川診療所は、あまりにも狭く、会議の場所も、職員の休憩所もない。加えてコロナワクチンの待機場所など制約もあり、厳しい環境の中運営しているようだ。さらりの基幹診療所として組合員が使いやすい場所にしてほしいと切に感じる。

◆駐車場問題もある。今回の提案では課題の共有と、利用委員会として改善要求は勿論、出来ない所は、組合員に理解を求めるなど生協との橋渡しとしても活動して行かなくてはならないと感じている。

◆現在の介護サービスが複雑で分からない。具体的に勉強する機会が欲しい。

◆今後、地域保健部と連携し、そういった場を作っていきたい。

◆上松川診療所・待合室の床が暗い。明るく出来ないだろうか。

◆承知した。善処したい。

被ばく健康相談のお知らせ

専門の先生をお呼びして、被ばくに関する健康相談を実施しています。毎日の生活に不安を抱えている方、ぜひ、お申込みください。

日程 ※日程は調整致します。 料金 無料
ところ 本部健康の家2階 (野田町1丁目15-12) 申込先 ☎531-6262

振津かつみ先生 兵庫県西宮市在住、兵庫県立大学遺伝学教室非常勤講師(放射線基礎医学)

さらり俳句・川柳コーナー

〈俳句〉

・空を吹き野を吹き青田の風になる
・コロナ禍を国境なしと夏つばめ
・足とめし梔子香る小道かな
・白壁にツタの葉のびて色の濃さ
きんもくせい

瑞枝

ご一緒に俳句・川柳を楽しんでみませんか。作品募集中心としてご応募ください。

〈応募・連絡先〉
福島市野田町一丁目一五一一二 地域保健部
☎五二六―一五一五

忘れずに『市民検診』を受けましょう!!

～健康維持・健康増進のための第一歩～

※新型コロナウイルスの感染には、十分に配慮して対応いたします。

【昨年度との変更点】

- ◆胃がん検診の対象年齢が50歳以上へ引き上げとなりました。胃内視鏡（カメラ）検査は、昨年度胃内視鏡（カメラ）検査を実施し「異常なし」かつピロリ菌現感染及び既感染が「なし」の方は、2年に1回の実施となります。（今年受けられる検査方法は胃がん健診の受診券下部に記載されております。）
- ◆骨粗鬆症検診の対象年齢が、40歳以上へ引き上げになりました。
- ◆乳がん検診は視触診廃止となりました。

【実施期間について】

- ◆令和3年6月1日～令和3年10月31日
*乳がん検診、子宮頸がん検診は令和3年6月1日～令和3年12月末日まで

【各種がん検診の詳細・受診券について】

- ◆がん検診の詳細内容につきましては、福島市の発行する「検診の案内」又は「受診券」をご覧ください。
- ◆「受診券」のない方は、福島市に問い合わせください。（本年度 課名変更）
福島市保健所 保健予防課 検診予防係 TEL: 525-7680
*福島市以外の方は、各自治体の支所窓口にお問い合わせください。

市ホームページ➔



【事前予約が必要です】

- ◆市民検診の受診には、事前にご予約が必要です。詳しくは、各診療所窓口にお問い合わせください。
- 須川診療所…☎531-6311 ●せのうえ健康クリニック…☎554-5757
- 上松川診療所…☎558-1111 ●とやのクリニック…☎544-1122

第11回（コロナ番外編7） 「私たちはどう生き、死ぬか？」

医師 川添隆司

組合員のみなさん、元気に遅く生きていますか！
コロナ番外編は続きます。

すったもんだの末、オリンピックは無観客で開催される事になり、東京には四度目の緊急事態宣言が出されました。菅首相の会見を聞いてみると改めてどうよに生きるかということを考えてさせられます。菅首相は会見において記者の質問にきちんと答えることは

ほとんどありません。聞かれたことは別の事を答える「すり替え」や、まともに答えない「ごまかし」、さらには「無視」などひどいものです。私は生き方の基本として大切なことに「誠実であること」、「謙虚であること」が挙げられると考えています。菅首相にはそのような態度は見られず、会見を聞くたびに失望させられます。

一方で、例えばスポーツ界では松井秀喜さんや三浦知良さん、そして今活躍の大谷翔平さん（若いのに素晴らしい）など多くの素晴らしい「謙虚」を感じることが出来ます。私たちがいざ死にます。人生の最終章を迎え、自身のこれまでを振り返った時に「誠実に生きてきた」と胸を張って言うことができれば、素晴らしい人生だったと感じる事ができるのではないのでしょうか。私たちは聖人ではないので、いくつかの言葉は胸に刻みコロナとの戦いを乗り越えましょう。

班会あれこれ

6/3	せのうえ第2	さくら班	認知症について
6/3	信 夫	ぼたん班	頭・指先を使いましょう
6/5	吾 妻 東	どんぐり班	定例会
6/5	蓬 菜	パソコン班	差し込み印刷の仕方
6/9	瀬上第3・瀬上第4B	合同体操広場班	体操
6/9	保 原	こぶし班	除草剤の危険性について
6/9	信 夫	ひまわり班	ウォーキング
6/9	信 夫	すみれ班	年1回の検診を
6/10	森 合	カラオケ班	皆でカラオケ
6/10	せのうえ第2	G G 班	グラウンド整備
6/11	川 南 西	ふきのとう班	お口の健康
6/12	森 合	体操広場班	セラバンド体操 他
6/12	杉 妻	支部ラジオ体操班	ラジオ体操・ウォーキング
6/12	蓬 菜	パソコン2号店班	コロナワクチンについて・エクセルの使い方
6/13	杉 妻	やさしいクラブ班	野菜作り
6/14	吾 妻 西	スギちゃん班	味噌汁塩分チェック
6/14	笹 谷	よりあい体操班	体操
6/16	上松川診療所	XON・四季合同班	骨密度チェック・骨密度測定機器見学
6/17	三 河 台 西	ピン・パン・ボン班	フォークダンス
6/17	森 合	カラオケ班	皆でカラオケ
6/17	せのうえ第2	P P K 班	頭の体操
6/18	清 明	もぐちゃん班	リンパストレッチ
6/18	吾 妻 西	うさぎとかめ班	セラバンド体操の振り返り
6/18	上松川診療所	秋 桜 班	減塩について
6/18	保 原	芳賀更正班	除草剤の危険性について
6/19	森 合	体操広場班	セラバンド体操 他
6/19	蓬 菜	パソコン班	差し込み印刷の仕方
6/21	三 河 台 東	スマイル班	お話し会
6/21	清 明	パカパカ班	認知症の早期発見について
6/22	吾 妻 東	ミモザの園班	新聞紙を使って体操
6/22	吾 妻 西	木村 公班	アロマスプレー作り
6/23	三 河 台 中	小 富 士 班	歯とお口の健康
6/24	森 合	カラオケ班	皆でカラオケ
6/25	吾 妻 東	萱 場 班	健康づくりチャレンジのおすすめ
6/25	川 北 東	支部主催班	セラバンド体操
6/25	瀬上第3・保原	ひめざゆり・やまゆり班	認知症の早期発見・体操
6/26	森 合	体操広場班	セラバンド体操 他
6/26	杉 妻	支部ラジオ体操班	ラジオ体操・ウォーキング
6/26	蓬 菜	ス マ ホ 班	スマホの使い方・肩こり予防体操
6/28	余 目	北矢野目合同班	セラバンド体操
6/28	信 夫	ぼたん班	頭・指先を使いましょう
6/30	清 明	チクチク班	認知症の早期発見について
6/30	信 夫	すみれ班	検診受けます

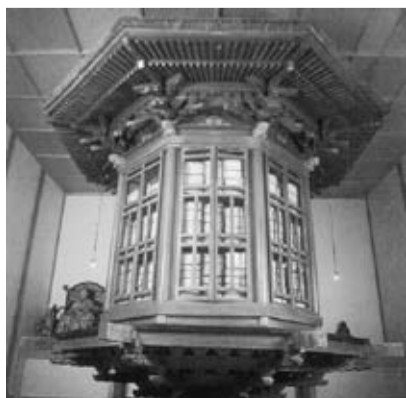
きらり★ウォーカー ふくしま探検隊 第69回

「川俣町歴史探訪⑧」 齋藤 馨

■頭陀寺回轉輪藏（町指定有形文化財）

鶏足山頭陀寺は宝徳元年（1449）九州熊本の人、栽松青和尚によって開山された禅堂で、当時は米沢市在小桑にある曹洞宗総持寺系端竜院の末寺でした。2世より12世に渡る布教活動により北は保原、東は草野、西は立子山まで、末寺17カ寺を持っていました。当時は再三の火災で昔の面影を偲ぶことは出来ませんが、開基の檀那（だんな・寺に財物を寄進した信者）として伊達植宗（たねむね・伊達家第14代）の名が大きく残っています。

延享4年（1747）建立の山門をくぐると、その左側にある土蔵造りの一棟が回轉輪藏です。中はたたき土間になっており、格天井は明治4年（1871）の火災に遭い、消失を免れた焼跡が目立ちます。特に天井東南方隅の部分が痛々しい。残りの部分には美しい草花の絵が描かれています。南西、南北の両限の壁際には阿弥陀如来及び傳大士^註と2童子像が安置され、土間と天井部を結び八角形の輪藏が建てられています。高さ4.8m、径4.1mの総ケヤキ造りで、たたき土間に据えられた石彫の整った蓮台を軸に回轉し、八角形八面に設けられた書架には一切経鉄眼版（天和元年版＝1681）、7,334巻が収められています。この一切経は保原町仙林寺から贈られたものです。



【註】傳大士は中国の人で、回轉輪藏の考案者です。